

# がん患者のアピアランス（外見）ケアを さらに後押ししていきます。

～新たに外科手術後のリーフレット2種を作成しました！～

がんの治療により、外見が変化した患者さんに対して、がん相談支援センター※などでは、アピアランス（外見）ケアが行われています。横浜市では、病院での、がん患者さんやご家族への説明などに活用いただくため、「髪、肌、爪、眉・まつ毛、ウィッグ」の5種類のお悩みに応じたリーフレットを、アピアランスケアに取り組む医療者、国立がん研究センター中央病院と協力して作成しています。

このたび、新たに「顔や首など手術の傷が目立ちやすい頭頸部のがん」や「乳がん」の手術をする方に向けた2種類のリーフレットを作成しました。

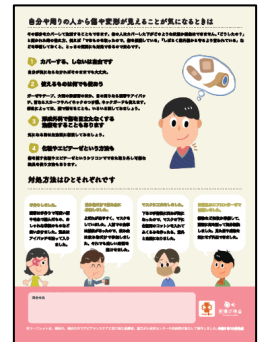
がん治療による外見の変化や日常生活を送る上での不都合に対し、患者さんが自分らしく生活できるよう、アピアランスケアの充実をサポートしていきます。

※全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関する相談窓口です。  
その病院にかかっているかどうかに関わらず、どなたでも無料で利用できます。

## 1 作成のポイント

### 「頭頸部の手術をする方へ」

頭頸部の手術をすることで、顔や首に大きく傷が残るといわれた場合の心がまえ、傷や変形への対処方法等を記載しています。「どうしたの?」と聞かれた時の答え方や身近なものを使ったカバーの仕方などについて解説しています。



### 「乳がんの手術をする方へ」

手術直後にも使える下着について、術後の見た目の整え方等を記載し、パッドの種類や選び方等を簡単に解説しています。また、男性乳がん患者さんへの理解を広めるために、男性患者さんの体験談も掲載しています。

## 2 配布、入手方法

当リーフレットは全国の自治体や医療機関でも活用されていることから、引き続きご利用いただけるよう、横浜市及び国立がん研究センター中央病院アピアランスセンターのウェブサイトで公開します。また、11月10日（金）から市内がん診療連携拠点病院等（13か所）に配布します。

裏面あり

### 3 現行版リーフレット



#### (参考) アピランス（外見）ケアとは

「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア」と定義されています。

#### (参考) 国立がん研究センター中央病院アピランス支援センター



アピランス支援センターは、がんやがん治療による外見変化に悩む患者さんの相談に応じ、自分らしく日常生活を送れるようサポートする部門です。平成 25 年に独立部門となり、外見の悩みを解決するための研究や教育活動にも取り組んでいます。

オレンジクローバーマーク

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/index.html>



横浜市では、平成 26 年 10 月に施行された「横浜市がん撲滅対策推進条例」に基づき、がん対策に関わる様々な取組を実施しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/appearance.html>

#### お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 古賀 美弥子 Tel 045-671-2957